

## 4

## 予算編成過程・KPIの公開

(建設部)

No.01

部課室	建設部維持課	事業名	道路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を常時良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
210,838 千円	210,109 千円	△729 千円	210,109 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内道路面積 : 12,574,119㎡		対象1㎡あたり	16 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、災害用備品購入費、燃料費を見直して一部減額した。				

No.02

部課室	建設部維持課	事業名	道路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を常時良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
576,760 千円	575,194 千円	△1,566 千円	575,194 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R3.10.1現在人口 : 382,656人		対象1人あたり	1,503 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.03

部課室	建設部維持課	事業名	エア遮断機整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	近年、局地的な大雨により通行止を必要とする地下道の冠水が、丹陽地区を中心に頻発している。このため、外崎の地下道において、通行車両の水没事故が起こらないように、冠水時に自動で作動するエア遮断機を設置し、水没事故の発生を防止するもの。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
16,280 千円	16,280 千円	0 千円	16,280 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	丹陽地区のR3.10.1現在人口 : 28,637人		対象1あたり	568 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.04

部課室	建設部維持課	事業名	橋梁保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	老朽化が進む橋梁の長寿命化を図るために、補修及び耐震化を計画的に行う事業。 令和4年度は、法令点検、設計及び工事を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
341,500 千円	251,000 千円	△90,500 千円	251,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内橋梁数 : 906橋	対象1橋あたり	277,041 円	
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.05

部課室	建設部維持課	事業名	横断歩道橋保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	老朽化が進む横断歩道橋の長寿命化を図るために、補修を計画的に行う事業。 令和4年度は、工事を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
42,000 千円	0 千円	△42,000 千円	0 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	所在地に隣接する三条連区の人口 : 13,389人	対象1人あたり	0.00 円	
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に組み替えて計上】 要求額について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.06

部課室	建設部維持課	事業名	水路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び道水路施設を常時良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
167,986 千円	167,986 千円	0 千円	167,986 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R3.10.1現在人口 : 382,656人	対象1人あたり	439 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

部課室	建設部維持課	事業名	水路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び水路施設を常時良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
180,651 千円	179,740 千円	△911 千円	179,740 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R3.10.1現在人口 : 382,656人		対象1人あたり	469 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.08

部課室	建設部維持課	事業名	排水機場等施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	浸水被害を防ぐため市内各所に設置された排水機場等において、施設の老朽化によるポンプ停止等の重大事故の発生を未然に防止するために施設の整備補修を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
17,640 千円	17,640 千円	0 千円	17,640 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	浅井町東浅井ほか受益地区 : 1,370ha		対象1haあたり	12,875 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

部課室	建設部道水路管理課	事業名	占用管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路上の電柱や電気・電話・ガス・上下水道の管路等の一定の施設の設置にあたっては、道路管理者として占用許可を出している。占用管理システムを通じて、これらの占用許可の情報を整理し、円滑な占用業務を行っていく。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
3,241 千円	3,241 千円	0 千円	3,241 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	占用許可・承認工事件数 : 5,867件		対象1件あたり	552 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.10

部課室	道水路管理課	事業名	道路管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	窓口業務において、市が管理している道路幅員等の照会に対して、道路に関する複数の情報を管理するシステムを使用し、迅速かつ円滑な業務処理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
8,059 千円	8,059 千円	0 千円	8,059 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路管理情報利用者数 : 13,619人	対象1人あたり	591 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

部課室	道水路管理課	事業名	道路台帳補正事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路整備工事等により道路形状は変化している。毎年その状況を調査し、道路台帳図及び調書等を修正して道路の適正な管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
32,879 千円	32,879 千円	0 千円	32,879 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路台帳年間照会者数 : 12,250人	対象1人あたり	2,684 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.12

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路改良事業	事業区分	投資的事业
事業概要	市民の日常生活に密着した道路 (生活道路) について、道路構造物 (側溝等) の保全及び更新を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11
				13	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
630,826 千円	615,426 千円	△15,400 千円	615,426 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 200件	対象1あたり	3,077,130 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて要求額の一部については一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、時限的な財源措置がある (交付税措置率が高い緊急自然災害防止対策事業債の対象である) ことも考慮して、要求額を一部減額して計上した。				

No.13

部課室	建設部道路課	事業名	日光川2号放水路関連公共補償事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	日光川2号放水路事業は、日光川の支川である野府川や新丹波川の洪水を木曾川へ排水する県の事業である。野府川から分流した洪水を取り入れる施設を建設するにあたり、公共補償により市道の付け替えのための用地を取得する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
13,660 千円	13,660 千円	0 千円	13,660 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	奥町連区、木曾川町連区R3.10.1現在人口 : 48,567人	対象1人あたり	281 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.14

部課室	建設部道路課	事業名	幹線舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本事業は幹線道路延長282kmのうち主に1級幹線163kmの舗装を対象に、損傷程度を踏まえ計画的に保全及び改良を行う事業である。 令和4年度は調査及び工事を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
474,000 千円	146,300 千円	△327,700 千円	146,300 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	幹線道路の面積 : 1,820,804㎡	対象1㎡あたり	80 円		
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.15

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市民の日常生活に密着した道路 (生活道路) について、道路舗装の保全及び更新を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
396,170 千円	386,080 千円	△10,090 千円	386,080 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 100件	対象1件あたり	3,860,800 円		
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて要求額の一部については一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、時限的な財源措置がある (交付税措置率が高い緊急自然災害防止対策事業債の対象である) ことも考慮して、要求額を一部減額して計上した。					

No.16

部課室	建設部道路課	事業名	西御堂線歩道拡幅事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本路線は自動車、歩行者の通行が多く、歩道が狭い上、段差があることから危険な歩道となっている。本事業は、歩行者が安全で快適に通行できる歩行空間を創出するため歩道を拡幅する事業である。令和4年度は、測量設計を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
8,200 千円	8,200 千円	0 千円	8,200 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	事業区間沿線町内R3.10.1現在人口 : 2,240人	対象1人あたり	3,660 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.17

部課室	建設部道路課	事業名	緊急輸送道路無電柱化事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市道0138号線は、市役所本庁舎 (防災拠点) と市民病院 (災害拠点病院) を結ぶ第3次緊急輸送道路に指定されており、災害直後から避難、救助活動、救援物資の輸送のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である。災害時の緊急輸送道路の機能を確保するため、市道0138号線の無電柱化を推進する。令和4年度は、本工事及び支障移設を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
113,500 千円	74,375 千円	△39,125 千円	74,375 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	1日の自動車交通量 (H28交通量調査) : 7,313台	対象1台あたり	10,170 円	
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.18

部課室	建設部道路課	事業名	木曾川古知野線道路改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本路線は、一宮市内の国道22号を経て江南市へ至る都市計画道路で、尾張北西部地域の東西軸を構成する幹線道路である。地域の発展と住民の利便性に寄与する重要な路線である。令和4年度は、用地取得を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
35,980 千円	29,920 千円	△6,060 千円	29,920 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	西成連区R3.10.1現在人口 : 34,592人	対象1人あたり	864 円		
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.19

部課室	建設部道路課	事業名	木曾川玉野線道路改築事業用地買戻事業	事業区分	投資的事業
事業概要	平成17年に、木曾川玉野線を整備するため、一宮市土地開発公社が尾西市土地開発公社から引き継いだ土地2筆を買戻すもの。都市計画課にて都市計画道路の見直し作業が行われており、当該土地を含む都)木曾川玉野線の一部が令和4年3月に廃止となる見込みであり、事業用地としては確定的に不要となる。これにより、公社が保有している当該土地2筆は、保有する理由がなくなるため、土地の取得業務等の委託に関する覚書を踏まえ、買い戻すもの。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
55,724 千円	55,724 千円	0 千円	55,724 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	法人：1社	対象1社あたり	55,724,000 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

部課室	建設部治水課	事業名	基盤整備促進事業 (北方地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	北方地区の水田33haの農業用水の安定供給を図るため、地区内の支線管水路を整備し、地区内水路の用排分離を行う。令和4年度は、管水路工 (管径75~350mm) を延長：1,080m整備する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13 15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
64,260 千円	64,260 千円	0 千円	64,260 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	用排分離を行う水田：33ha	対象1haあたり	1,947,272 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.21

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業 (大赤見地区)	事業区分	投資的事業
事業概要	大赤見地内を中心に流れる大赤見用水の流域にある21haの農地などを大雨の被害から守るため、水路の改修整備を実施する。令和4年度は、引き続きU型水路、ボックスカルバート工、及びゲート工：1基を含む、延長123m施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3	9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
76,000 千円	76,000 千円	0 千円	76,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	大雨の被害軽減を図る区域：21ha	対象1haあたり	3,619,047 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.22

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業（明地地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	一宮市明地地内において、農地などを大雨の被害から守るため、排水路の整備を実施する。令和4年度は、排水路の改修工事（ボックスパート工：延長＝64m及びL型擁壁・PU側溝：L＝94m等）に着手する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
78,300千円	78,300千円	0千円	78,300千円	0千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：28ha		対象1haあたり	2,796,428円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.23

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新岩倉用水地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	木津用水土地改良区が管理する岩倉用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和4年度は、一宮市及び大口町において用水管（延長：740m）の更新を行う。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
11,191千円	11,191千円	0千円	11,191千円	0千円		
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：198ha		対象1haあたり	56,520円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.24

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新光堂川地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	宮田用水土地改良区が管理する光堂川用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和3年度から工事着手。令和4年度は延長：890mを施工する。また当事業において、昨年度に引続き今年度工事の中でも、既設水路の復旧に併せて既設組立水路に代えて、地下にボックスパート及び管水路を敷設し、既設道路との一体的な上部利用を図る。（令和4年度分 延長：210m）					
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
55,140千円	55,140千円	0千円	55,140千円	0千円		
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：163ha		対象1haあたり	338,282円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					



## 4

## 予算編成過程・KPIの公開

(建設部)

No.25

部課室	建設部治水課	事業名	県営たん水防除事業（新大江地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	大江排水機場は、築造後約30年経過し老朽化が著しい。また、経年劣化による能力低下なども見受けられ早急な対策が必要である。このため、当流域のたん水被害対策として、排水機場を建て替えることにより、農業経営の安定化を図る。令和4年度は機場工（機場下部工）及び除塵機工（除塵機設備工）に着手する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
1,547 千円	1,032 千円	△515 千円	1,032 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：180ha		対象1haあたり	5,733 円
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.26

部課室	建設部治水課	事業名	県営緊急農地防災事業（千間堀下流地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	千間堀川流域では、浸水被害が慢性的に発生している地域であるため、河川改修を行い、流下能力を向上させ、被害の軽減を図る。令和4年度は【一宮市管理区間】排水路工：延長=43m及び【西成土地改良区管理区間】排水路工：延長=21.5m、ゲート工：1基を改修する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
10,321 千円	10,321 千円	0 千円	10,321 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：210ha		対象1haあたり	49,147 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.27

部課室	建設部治水課	事業名	県営水環境整備事業（大江川4期地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	大江川両岸の上部を利用し、自然や景観に配慮した遊歩道や休憩する施設を整備する。令和4年度の事業内容は、遊歩道整備を延長：1,136m行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）			11		15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
50,000 千円	50,000 千円	0 千円	50,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	浅井・葉栗連区R3.10.1現在人口：35,989人		対象1人あたり	1,389 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.28

部課室	建設部治水課	事業名	県営用排水施設整備事業（萩原東部地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	突発的・局地的豪雨時の流域被害軽減のため、光堂川から準用河川新堀川へのバイパス水路を整備する。令和4年度は、実施設計業務を行う。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
4,200 千円	4,200 千円	0 千円	4,200 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の軽減を図る区域：527ha		対象1haあたり	7,969 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.29

部課室	建設部治水課	事業名	濃尾用水地区用排水対策協議会負担事業	事業区分	投資的事業		
事業概要	主に、平成24年度より用排水分離後の排水路（旧用水路）の維持管理に係る費用の一部、及び令和2年度より国営造成水利施設の管理体制に対する整備・強化の促進に係る費用の一部について応分の負担をするもの。						
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額				
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）			
22,002 千円	22,002 千円	0 千円	22,002 千円	0 千円			
KPI	受益者など（見込）	排水流域面積：2,171ha		対象1haあたり	10,134 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。						

No.30

部課室	建設部治水課	事業名	農業農村多面的機能支払事業補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	集落コミュニティの共同管理等により農地が農地として維持され、農地が持つ多面的機能が十分に発揮されるように、地域の共同活動や営農活動に対し支援する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2			11	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
14,015 千円	14,015 千円	0 千円	14,015 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	農用地：389ha		対象1haあたり	36,028 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.31

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業（西成土地改良区）	事業区分	投資的事業		
事業概要	西成土地改良区が管理する千間堀川の用水路の更新について、愛知県が事業主体となり整備する。西成土地改良区に対して、営農の安定化を図るため事業費の一部を補助する。						
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額			
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）		
9,000 千円	1,509 千円	△7,491 千円		1,509 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	西成土地改良区流域面積：508ha		対象1haあたり	2,970 円		
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。						

No.32

部課室	建設部治水課	事業名	かんがい排水事業	事業区分	投資的事業		
事業概要	市内の6地区における水路の用排水能力を向上させるため、水路改修工事等を実施する。						
SDGs（持続可能な開発目標）	2	3		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額			
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）		
53,550 千円	53,550 千円	0 千円		53,550 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	水田への取水向上を図る区域：22ha		対象1haあたり	2,412,162 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。						

No.33

部課室	建設部治水課	事業名	農村総合整備事業	事業区分	投資的事業		
事業概要	市内の7地区における水路の用排水能力の向上かつ道路有効幅員を拡大するため、水路改修工事を実施する。						
SDGs（持続可能な開発目標）	2	3		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額			
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）		
82,550 千円	82,550 千円	0 千円		82,550 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	対象地区人口：4,067人		対象1人あたり	20,297 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。						

No.34

部課室	建設部治水課	事業名	生活関連治水事業	事業区分	投資的事業		
事業概要	水路の安定した機能を確保するため、用排水路及び付属構造物の整備を行う。また、道路冠水等の浸水被害の軽減を図るため、函渠の整備を行う。						
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額				
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)			
644,650 千円	617,640 千円	△27,010 千円	617,640 千円	0 千円			
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 160件	対象1件あたり	3,860,250 円			
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて要求額の一部については一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、時限的な財源措置がある (交付税措置率が高い緊急自然災害防止対策事業債の対象である) ことも考慮して、要求額を一部減額して計上した。						

No.35

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業 (宮田用土地利用改良区)	事業区分	投資的事業	
事業概要	宮田用土地利用改良区が管理する大江幹線水路 (丹羽地区) の分水口の取替及び光堂分水路 (萩原町中島地区) の揚水機 (ポンプ) の取替に必要な事業費の一部を補助する。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
1,200 千円	1,200 千円	0 千円	1,200 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	田んぼへの取水向上を図る区域 : 30ha	対象1haあたり	40,000 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.36

部課室	建設部治水課	事業名	単独土地改良事業負担事業 (木津用土地利用改良区)	事業区分	投資的事業	
事業概要	木津用土地利用改良区が管理する岩倉用水は、施設の漏水や不具合が毎年のように発生している。農業用水の安定供給や漏水に伴う陥没事故を防止するため、土地改良区が行う緊急修繕に対し応分の負担を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13	15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
158 千円	158 千円	0 千円	158 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	岩倉用水の田んぼへの取水向上を図る区域 : 199ha	対象1haあたり	793 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.37

部課室	建設部治水課	事業名	木津用水水管理対策協議会負担金事業	事業区分	投資的事業
事業概要	水管理実態を総合的に調査し都市化に対応した計画を樹立しその具体化を図る目的で関係市町が組織する協議会であり、令和2年度より基幹的農業用水利施設（国営造成施設）を管理する木津用水土地改良区の管理体制の整備・強化を図るため施設管理費の一部を負担する「国営造成施設管理体制整備促進事業」を実施している。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13 15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
133 千円	133 千円	0 千円	133 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	対象となる田んぼの面積（一宮市）：126ha	対象1haあたり	1,055 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.38

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良施設維持管理適正化事業（防災減災機能等強化対策）	事業区分	投資的事業
事業概要	大和町妙興寺地内を流れる妙戸川の一部区間約800mは開渠水路であり、全6基の樋門のうち1基のみ自動化が完了している。現在、操作員が手動により操作しており、水管理労力の軽減や流域の防災・減災を推進するため、樋門2基を電動化するもの。なお、当事業は市の負担割合が40%から30%に軽減される令和4年度創設の「防災減災機能等強化対策」を活用し、実施するもの。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
35,252 千円	35,252 千円	0 千円	35,252 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	対象地区人口：6,035人	対象1人あたり	5,841 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.39

部課室	建設部治水課	事業名	雨水排水路整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	丹陽町外崎地内は、度重なる浸水被害を受けており河川改修や浸水対策への要望が強い地域である。当事業は、都市再生整備計画区域内で施行される土地区画整理事業区域外を計画区域とし、千間堀川へ排水できるように経路を見直し、適切な断面を決定し、排水施設を整備するもの。				
SDGs（持続可能な開発目標）			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
20,000 千円	20,000 千円	0 千円	20,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	雨水排水路整備事業区域内の人口：1,132人	対象1人あたり	17,667 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.40

部課室	建設部治水課	事業名	かんがい用水改良事業(築込地区ほか)	事業区分	投資的事業	
事業概要	萩原町築込地区ほかにおいて、農業用水を取水する揚水ポンプの設置に必要な現地調査・及び基本設計業務を行うもの。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
15,796千円	10,700千円	△5,096千円	10,700千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	萩原町築込及び高松 受益面積: 14ha		対象1haあたり	748,251円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、測量・設計業務委託料の要求額を一部見直して計上した。					

No.41

部課室	建設部治水課	事業名	河川等情報関連事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の河川水位や雨量を情報発信するシステム「河川等水位情報」を安定的に運用する。また、木曽川上流河川事務所と一宮市が木曽川水系の情報を相互に利用できる「河川情報利用ネットワーク」を運用する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
21,140千円	21,140千円	0千円	21,140千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	河川水位・雨量及び木曽川の状況観測箇所数: 67か所		対象1か所あたり	315,522円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.42

部課室	建設部治水課	事業名	流域貯留施設築造事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	河川への雨水流出を抑えるため、市内の学校や公園等を利用して一時的に雨水を貯留する施設を築造する。 令和4年度は、令和元年度に行った基本計画を基に三ツ井公園の測量設計を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
26,000千円	26,000千円	0千円	26,000千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	丹陽町連区 R3.10.1現在人口: 28,637人		対象1人あたり	907円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.43

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川千間堀川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川千間堀川流域では、浸水被害が慢性的に発生している地域であるため、河川改修を行い、被害の軽減を図る。全体の施工延長は727mで、平成24年度より工事を着手し、令和4年度も引き続き工事を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
35,200 千円	10,200 千円	△25,000 千円	10,200 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	丹陽町外崎・若竹・あずら・浅野地区R2.10.1現在人口 : 9,285人	対象1人あたり	1,098 円		
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.44

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川川崎川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川川崎川の流域では、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い、被害の軽減を図る。全体の施工延長は830mで、平成24年度より工事を着手し、令和4年度も引き続き工事を行うと共に、上流部に日光川2号放水路が事業化されたので流域全体を見直す設計業務を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
119,800 千円	119,800 千円	0 千円	119,800 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	奥町連区 R2.10.1現在人口 : 14,316人	対象1人あたり	8,368 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.45

部課室	建設部治水課	事業名	浸水対策施設設置補助事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	浸水対策施設を設置した場合に設置費用の一部を補助する事業で、雨水貯留浸透施設と防水板施設がある。雨水貯留浸透施設は、雨水を溜める貯留タンクや浄化槽転用貯留槽、雨水を地中へ浸透させる浸透ますや透水性の舗装があり、雨水の河川への流れ込みを一時的に抑制し、出水被害を軽減する効果がある。防水板施設は、宅地などの浸水のおそれがある出入口に設置し、大雨による浸水被害を軽減させる効果がある。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
4,850 千円	4,850 千円	0 千円	4,850 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	申請件数 : 52件	対象1件あたり	93,269 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.46

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川新丹波川改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	県による日光川2号放水路事業の中間立坑に隣接する新丹波川の洪水を日光川2号放水路に流入させる施設を整備する。 令和4年度は、その用地を購入する。				
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11
					13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
22,100 千円	0 千円	△22,100 千円	0 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	奥町連区、木曾川町連区R3.10.1現在人口 : 48,567人	対象1人あたり	0.00 円	
査定結果の理由等	【令和3年度3月補正予算に組み替えて計上】 要求額について、国の補正予算に伴い令和3年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				